

# 普及だより

第142号  
 発行  
 八重山農林水産振興センター  
 農業改良普及課  
 沖縄県石垣市真栄里438-1  
 TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142  
 与那国駐在  
 TEL 0980-87-2354(代)

## 沖縄県農業機械士協議会 設立30周年記念



大浜氏

沖縄県農業機械士協議会が今年で設立30周年を迎えるにあたり、7月28日に8年ぶりの沖縄県トラクタ耕競技大会が開催されました。八重山からは西表島の大浜和重氏が地区代表として出場され、急な選手交代による出場にもかかわらず、落ち着いた表情で日頃の成果を発揮し、見事敢闘賞を受賞しました。

夕方からは30周年記念式典・祝賀会も開催され、初代会長の金城彰氏や歴代会長への功労者の表彰もおこなわれ、写真展示において30周年の歴史を振り返るなど盛大な式典となりました。

### 沖縄県農業機械士協議会 設立30周年記念式典・祝賀会



### 沖縄県農業機械士協議会 設立30周年記念式典・祝賀会



# マンゴー 10~11月の栽培管理と害虫防除



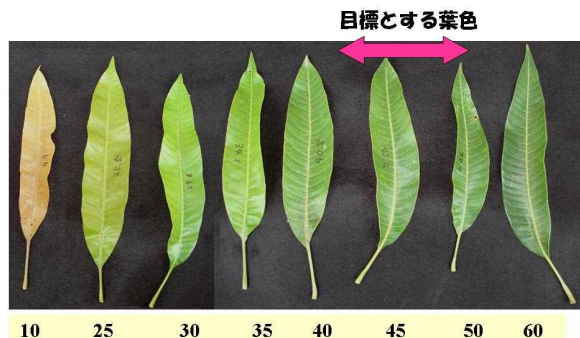
## ◎ 栽培管理

### 秋の剪定と窒素肥料はNG

10月以降に剪定を行うと枝葉の充実が遅れ翌年の開花に影響します。これからの時期は剪定をしないようにしましょう。また、基本的に窒素肥料(N)は施用せず<sup>1)</sup>、リン酸(P)やカリ(K)で葉の充実を目指しましょう。充実の目安は11月上旬に最終節の中段の葉がグリーンメーター(GM値)45以上で葉に厚みのあることです(右写真)。

マンゴーの花芽分化に必要な条件は、次の順番で重要とされています。

- ①結果母枝の充実：11月までに充実させる
- ②十分な低温期間：ハウス内を涼しくする
- ③ゆるやかな乾燥：土がひび割れるほどの乾燥は根が傷むためNG



1)11月上旬に樹全体がGM値40以下の場合には窒素配合の液肥の葉面散布を検討

## ◎ 炭そ病・軸腐病とアザミウマの防除

### 炭そ病・軸腐病の防除

収穫後の残渣は炭そ病・軸腐病の感染源です。速やかにハウス外へ持ち出しましょう。炭そ病の菌は花芽の時にはすでに感染しています。出蕾前からの予防散布を実施しましょう(右表)。



### チャノキイロアザミウマの防除

この時期、新葉に寄生し大きな被害を出すチャノキイロアザミウマの防除は、以下の点に留意しましょう。

①発生源となる雑草の除去：キダチコミカンソウ(下)、コミカンソウ、アオビユに多い。

②計画的な薬散：多発後の防除は困難なため、新葉の発生にあわせて予防的な薬散を心がけましょう(新葉が硬化するまで7~10日間隔の防除)。

③不要な新葉の除去：11月中旬以降の不要な新葉は除去し、必ずビニール袋等に入れてハウス外で処分しましょう。

表 炭そ病・軸腐病の体系防除

生育ステージ	散布時期の例	薬剤
出蕾前	12月	ICボルドー66D
出蕾	1月中旬	ジマンダイセン水和剤
	2月上旬	ジマンダイセン水和剤
開花初期	2月下旬	オーソサイド水和剤80
	3月上~中旬	オーソサイド水和剤80
開花後期	3月下~4月上旬	スミレックス水和剤
結実~初期肥大期	4月中~下旬	スミレックス水和剤
	肥大期	5月上旬





## 八重山地区かぼちゃ栽培の流れ



作付け基準日 播種 11月上旬 定植11月中旬  
 (面積が多い場合は、播種を15日ずつ前後にずらし調整しましょう。)

月	旬	主な作業	備考(単位は10aあたり)	
植付前		緑肥の播種、すき込み、耕盤破碎、堆肥施用、防風垣用ソルゴー播種など圃場の準備	ソルゴー3~5kg播種。幅50cm程度の筋まき。(敷き草にも利用可)	
			堆肥施用(2.5t)ただし、完熟でない場合は8月までに。炭カル、苦土石灰、BMようりん等でpH6~7に調整する。 ダイアジノン粒剤等でネキリムシ対策を。	
10	中~	育苗管理	<播種・育苗>6cmポット等とみのり床土、若夏などを使用。前日に培土を濡らし、播種後たっぷり灌水して新聞紙をかぶせ、発芽まで灌水しない。発芽後も灌水は朝のみ、最小限にする。育苗はネットやビニールで病害虫・ネズミ対策を。	
11	上	播種		<定植>植穴にアブラムシ・アザミウマ・ハモグリバエ・コナジラミ対策としてアドマイヤー粒剤またはスタークル粒剤等処理。本葉1~2枚で定植し、すぐに手灌水。活着後は徒長抑制のため過剰な灌水は控える。
	中		定植	
	下			
12	上	交配(定植後40~50日)	中耕除草、敷き草。割り箸・ソルゴーの芯等で誘引。着果位置までの側枝は手で摘めるうちにとる。1~2番花の摘果。敷き草を全面に敷く。	
	中		<交配>下葉を除き14葉以上、3~4番花で交配。天気が悪いときは前日に♂花を採取、♀花にコップ等をかぶせ、翌日朝に人工交配。 →交配日または交配確認日を記録しておく。 受粉後、20日程度で玉肥大が完了するため乾燥させないよう灌水する。	
	下		肥大期25日	<防除>液肥・殺菌剤を5~7日おき葉面散布:収穫まで葉を20枚残す。低温・低日照時はアミノ酸、微量元素を含む液肥を利用する。銅剤・硫黄粉剤・総合殺菌剤による、うどんこ病・褐斑細菌病・果実斑点細菌病などの防除を行う。
1	上	熟期30日	<玉選び>着果後7~10日をめどに果形や大きさのよい1つを選び、残りを摘除。玉選び後、つる先をつみ取り芯止めをする。	
	中		<果実保護>果実がソフトボール大の頃シートを敷く。新聞紙等で果実を覆う。(キジ対策の被覆は早くても肥大終了後)	
	下			
2	上	収穫・出荷	必ず試し切りを行い、収穫日を決める 保管・輸送時に発生する病害の予防(疫病・炭そ病など)	
3	中			
3	下			
4	上	収穫・出荷	4月下旬までに収穫を、5月上旬までに出荷を終えることを目標に! 市場に入荷される国産かぼちゃは、GW明けには沖縄産から鹿児島産へシフトし、単価安になります。	
4	中			
4	下			

反収目標:1トン/10a 目標大玉率(2kg以上):80%



### 平成29年度土壌検診週間における土壌分析結果について



7月3日から始まった土壌分析週間における分析点数は、八重山地区で計215点(石垣市127点、竹富町84点、与那国町4点)、作物別では、さとうきび68点、野菜80点、果樹29点、水稲18点、牧草3点、その他17点となりました。土づくりは農業の基本となります。品目ごとに適正な改良・施肥をおこないましょう。

# 草地更新・冬作物栽培のすゝめ



一見、綺麗に生えそろった牧草地

草地内をよく見てみると...

牧草よりも雑草の方が  
多い...かも!?

## 牧草内に雑草が繁茂すると...

- ・牧草の被度が低下
- ・牧草の品質低下
- ・草地全体の収量低下

### 植物の被度により雑草侵入状況を判断

		牧草被度(ギニアグラス等)		
		70%	50-70%	50%以下
雑草被度	10%以下	更新不要	簡易更新による追播	
	10~30%	雑草防除と土壌膨軟化処理		
	30%以上		除草剤を利用し耕起を伴う完全更新	

(長崎、オガサワラスズメのヒエの防除方針、沖縄畜試、平成8年、一部改編)

必要に応じて全面更新あるいは簡易更新

牧草の収量が下がる冬場には冬作物の栽培もおすすめです!

- ・イタリアンライグラス
- ・エンバク

年内最終刈取後(11月下旬頃)に播種

~草地更新や冬作物に興味のある方は八重山農業改良普及課まで~

# GAP(良い・農業の・実践)に取り組んでみましょう

GAPの基本的な考え方

- ★生活環境・地球環境の安全(環境保全)
- ★作る人・働く人の安全(労働安全・人権の確保)
- ★食べる人の安全(食品安全)
- ★アニマルウェルフェア(動物福祉)

農業の悪い習慣を止める

GAPの合い言葉は、改善+5S(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)の持続的取り組みです。GAPのチェックシートを見ながら出来ていないところがあっても出来そうな項目から取り組み、持続的に見直しを行いながらより良い農業の実践を目指して行きましょう。

## 転出者

- 河野伸二 → 退職(農業研究センターで再任用)
- 橘知行 → 営農支援課
- 島袋真紀子 → 病虫害防除技術センター
- 秋田愛子 → 農業研究センター
- 登川雄介 → 園芸振興課
- 後原智恵美 → 任期終了



お世話になりました